

松永裕平 秋のコンサート Tango×民謡

special guestに伊藤多喜雄さんをお迎えして、
ソーラン節など、伝統と革新の融合した曲をお送りします！

松永裕平Profile

国立音楽大学卒業。

オルケスタ・ティピカ東京に在籍したバンドネオン奏者、森川俱志氏の盛岡市の老舗「アンサンブル」で8年間ピアニスト、アレンジャーとして活躍し、アルゼンチンタンゴの研鑽を積む。

ポピュラーピアノを小原孝氏、音楽理論全般を箱石啓人氏に師事。

小松亮太氏らの「ハッピー・タンゴ・アワー」に参加、NHK歌謡コンサートでクミコ氏と共演。

2017年より菅原洋一氏の伴奏も務める。

伊藤多喜雄氏とのコラボ「Tango×民謡」は好評を博す。

2022年3月に、満を持して1stアルバム「温故知新-Tangos en Piano Solo-」をリリース。

2022年より5年連続、帝国ホテル東京のお正月のコンサートに「松永裕平タンゴ四重奏団」として出演。

古典タンゴを軸足に据え、第一線で活躍する様々なアーティストたちとの共演も多く、幅広い活動を展開。

2026年3月に、2ndアルバム「Música Universal」をリリース。



伊藤多喜雄Profile

1950年北海道苫小牧市生まれ。神奈川県川崎市在住。民謡歌手・音楽家・プロデューサー。株式会社伊藤多喜雄音楽事務所役員、NPO法人フィールドワークスジャパン民俗芸能伝承学舎理事長、公益財団法人日本民謡協会名誉教授。

「3年B組金八先生」で全国に知られた南中ソーランの原曲「TAKiOのソーラン節」の生みの親として知られ、1989年・2003年 NHK紅白歌合戦出場。1983年にTAKiO BANDを結成し、民謡をロック、ジャズなど多彩な音楽と融合させた独自のスタイルを確立した。

国内外で数多くの公演を行う一方、「唄さがしの旅」を続け、日本各地に伝わる民謡や民俗芸能の調査・継承、地域活性化、学校教育、若手採用にも力を注ぐ。国際交流基金招聘による海外公演、上海万博、ミラノ万博、FUJI ROCK FESTIVAL出演などその活動は幅広い。

川崎市文化賞、日本民謡協会文化章を受章し、2025年には公益財団法人日本民謡協会最高位となる「日本民謡名人位」を受章。日本の民謡文化を未来へ、そして世界へ伝える第一人者として活動が続いている。

【お問合せ・お申し込み】 りらーと八條公民館

〒340-0801 埼玉県八潮市大字八條2753番地46 TEL: 048-994-3300)